

授業科目 身体障害作業療法評価学

【担当教員名】 泉 良太、岩波 潤		対象学年	2	対象学科	作業
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 身体障害領域における作業療法評価を実施するために、各検査の基本的な知識・技術を修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体障害領域における作業療法評価について説明できる。 2. 各検査の意義と方法について列挙できる。 3. 疾患に応じて適切な検査を選択できる。 4. 作業療法の評価計画を立てることができる。 5. 作業療法の対象となる人や障害に関心を持つことができる。 6. 一般的な礼節を身につける。 7. 予習・復習を実施し積極的に授業に参加する。 8. 検査を繰り返し練習し熟練する。 9. 評価結果を統合解釈し病態を的確に分析することができる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	身体障害領域における作業療法評価総論（記録・報告含む）			1-7	講義、担当：泉 良太
2	面接法・観察法（情報収集含む）			1-9	講義・実習、担当：泉 良太
3	触診方法・形態計測			1-9	講義・実習、担当：泉 良太
4	触診方法・形態計測			1-9	講義・実習、担当：泉 良太
5	意識の評価・バイタルサインの測定			1-9	講義・実習、担当：岩波 潤
6	意識の評価・バイタルサインの測定			1-9	講義・実習、担当：岩波 潤
7	脳神経検査			1-9	講義・実習、担当：泉 良太
8	脳神経検査			1-9	講義・実習、担当：泉 良太
9	反射検査			1-9	講義・実習、担当：泉 良太
10	反射検査			1-9	講義・実習、担当：泉 良太
11	感覚検査			1-9	講義・実習、担当：岩波 潤
12	感覚検査			1-9	講義・実習、担当：岩波 潤
13	臨床検査値の読み方			1-7	講義、担当：泉 良太
14	検査の統合と解釈			1-9	講義・実習、担当：泉 良太
15	まとめ			1-9	講義・実習（泉・岩波）
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		作業療法評価学 第2版	岩崎 テル子 他	医学書院	2011・5,800円＋税
		ベッドサイドの神経の診かた 改訂17版	田崎 義昭、斎藤 佳雄 他	南山堂	2010・7,200円＋税
参考書		神経局在診断 改訂第5版	Peter Duus	文光堂	2010・10,000円＋税
		分担解剖学	森 於菟 他	金原出版	1982・9,300円
その他の資料		プリント			
【評価方法】 授業態度（2割程度）、実技試験（4割程度）、 定期試験（4割程度）		【履修上の留意点】 受講にあたり、骨・筋・神経系を中心とした解剖生理学的知識が要求される。 骨・筋を確認しながら検査を実施するため、半袖・半ズボンの上にジャージ等を着用し て授業に参加すること。			